

総合コアプログラム 開催要項

総合コアプログラム「修士論文中間発表会」・「博士論文中間発表会」

日時：4月16日(土) 13:00～16:35

4月23日(土) 13:00～16:45

4月16日(土)は14時30分まで総合学術研究科教員(2名)による講演を予定しています。

会場：タワー75 10階/1002多目的室

当日のすすめ方

- ・発表者は内容要旨A4 1枚程度(論文作成計画書に基づき)を用意する。
- ・博士前期課程学生の一人あたりの担当時間は20分間とする。
(発表:10分 質疑応答:10分間)
- ・博士後期課程3年生の一人あたりの担当時間は30分間とする。
(発表:20分 質疑応答:10分間)
- ・当日はレジユメを使用せず、原則、パソコンのプレゼンテーションソフト(PowerPoint)等を用い、各自で操作しながら発表する。
- ・パソコンは研究科で用意可能。フラッシュメモリーで持参ください。
- ・パソコンを使用しない場合はOHPを使用する(OHPシートは各自で用意)。それ以外の方法(レジユメを配布する場合は、事務に相談するものとする)。
- ・準備のため、発表で使用する機材を4月12日(火)までに事務に連絡するようにしてください。
- ・内容要旨は発表の一週間前までに必ず学務センター大学院まで送付してください。
- ・参加者は内容要旨を参考資料として発表を聞くこととする。

16日コアプログラム終了後 **懇談会**(13号館1階 総合学術研究科共同研究室)をおこないます。

連絡先 名城大学 学務センター 大学院

(担当 伊藤・大武)

(052)832-1151内線(2608.2609)

直通(052)838-2022

【タイムスケジュール】

別紙を参照してください。

平成17年度 前期

平成17年 4月16日(土) 於:タワー75 10階/1002			
総 合 コ ア	13:00 ~ 13:45	テ - マ	「海洋生物の毒」
		担 当	森 裕二 教授(物質・環境科学:分子設計化学)
	13:45 ~ 14:30	テ - マ	「従属・開発・環境」
		担 当	梶 谷 素 久 教授(人間社会科学:国際社会学)
			15 分 間 休 憩
	14:45 ~ 15:05	テ - マ	Microcystin 分解性細菌の機能解明に関する研究
		担 当	加 藤 創
	15:05 ~ 15:25	テ - マ	Microcystin 毒性発現機構解明のための phosphoproteome 解析
		担 当	館 昌 彦
			10 分 間 休 憩
	15:35 ~ 15:55	テ - マ	Endomorphin の生理作用およびオピオイド神経系を介した 神経伝達物質遊離調節機構の解明
		担 当	木 俣 宏 章
	15:55 ~ 16:15	テ - マ	ラン藻のタイプ2 カチオン/プロトン アンチポーター遺伝子の解析
		担 当	田 中 公 浩
	16:15 ~ 16:35	テ - マ	対人不安に陥る原因の検討(キーワード:対人恐怖症養育態度、青年期)
		担 当	中 根 規 仁

終了後 懇談会(13号館1階 総合学術共同研究室)

平成17年 4月23日(土) 於: タワー75 10階/1002			
総 合 コ ア B	13:00 ~ 13:30	テ - マ 担 当	医療安全におけるモチベーションの重要性に関する研究 天 野 寛
	13:30 ~ 14:00	テ - マ 担 当	肝臓と脳におけるグルコースセンサー機能の解明 西 尾 崇
	14:00 ~ 14:30	テ - マ 担 当	Genetic Engineering of Salt Tolerant Plants GaziSakir Hossain
			15分間休憩
	14:45 ~ 15:15	テ - マ 担 当	海洋産ポリ環状エーテル天然毒 Gambierol の合成研究 古 田 大 貴
	15:15 ~ 15:45	テ - マ 担 当	生理活性を有する海洋産天然物の合成とプロセス合成改良研究 大 野 友 靖
	15:45 ~ 16:15	テ - マ 担 当	医薬品候補化合物の合成プロセスの研究 原 部 哲 治
	16:15 ~ 16:45	テ - マ 担 当	環境調和型新規不斉相間移動解媒の分子設計とその応用 吉 澤 一 洋